

常見病

(修訂版)

拔罐療法

● 劉強 編著

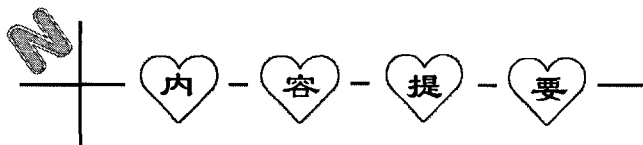
金盾出版社

常见病拔罐疗法

(修订版)

刘 强 编著

金 盾 出 版 社



本书介绍了拔罐疗法的治疗原理,人体经络的作用,拔罐用具的分类和操作方法等;重点推荐了用于治疗内、外、妇、儿、五官、皮肤各科 96 种常见疾病的拔罐方法,并予以图示说明。其内容科学实用,方法简便易行,适合基层医务人员和广大群众阅读并应用。

图书在版编目(CIP)数据

常见病拔罐疗法/刘强编著. —修订版. —北京:金盾出版社, 2008. 1

ISBN 978-7-5082-4810-3

I. 常… II. 刘… III. 拔罐疗法 IV. R244. 3

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 178017 号

金盾出版社出版、总发行

北京太平路 5 号(地铁万寿路站往南)

邮政编码:100036 电话:68214039 83219215

传真:68276683 网址:www.jdcbs.cn

封面印刷:北京精美彩印有限公司

正文印刷:北京 2207 工厂

装订:蓝迪彩色印务有限公司

各地新华书店经销

开本:850×1168 1/32 印张:8 字数:197 千字

2008 年 1 月修订版第 9 次印刷

印数:107001—120000 册 定价:18.00 元

(凡购买金盾出版社的图书,如有缺页、
倒页、脱页者,本社发行部负责调换)

修订版前言

拔罐疗法是我国广大劳动人民在与疾病作斗争中逐步发展起来的一种医疗技术。其操作简单,用之常有奇效,故在民间一直广为流传,并深受广大群众的欢迎。拔罐疗法是采用筒状工具,利用火焰或蒸气等,使罐内形成负压,而准确地将罐具吸附在人体的特定部位或穴位上,以达到治病保健的目的。拔罐疗法不仅操作简单,而且经济实用,安全有效,可用于治疗内、外、妇、儿、五官、皮肤等科的近百种疾病。

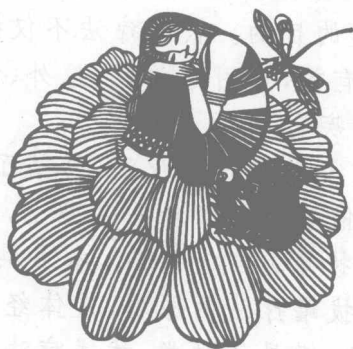
笔者为推广和普及拔罐疗法,总结了临床多年的实践经验,在参考借鉴有关资料的基础上,以实用为原则,写成了《常见病拔罐疗法》一书。本书共分为十六个部分,分别介绍了拔罐疗法的原理,人体经络的作用,拔罐疗法常用的穴位,罐具的种类,拔罐疗法的分类,拔罐常用的材料,拔罐前的准备,拔罐的操作方法及注意事项等;重点推荐了用于治疗内、外、妇、儿、五官、皮肤等科,共计96种常见病的拔罐方法,并配有示意图予以说明。本书所介绍的操作方法均容易掌握且简单实用,文字亦

通俗易懂,很适合基层医务人员和广大群众阅读应用。

《常见病拔罐疗法》一书自1996年出版以来,一直受到广大读者的喜爱,曾多次重印,发行了10万余册。并在台湾出版了繁体字版本,海外读者也十分欢迎。此次修订为了满足更多读者的需求,在尽量保留原版特色的基础上,吸取了许多读者的意见,增加了13个病种和拔罐疗法近年来的新进展,以不同的拔罐形式介绍了多种治疗方法,图文并茂,使广大读者更容易阅读和掌握。

由于笔者学识浅薄,加之时间仓促,虽经修订,仍难免有误,敬请读者继续予以批评指正。

刘 强





目 录

一、拔罐疗法简史	(1)
二、拔罐疗法的治疗原理	(3)
(一) 中医对拔罐疗法的认识	(3)
(二) 现代医学对拔罐疗法的认识	(5)
三、人体经络的作用	(8)
(一) 经络的概念	(8)
(二) 经络系统的组成	(8)
(三) 十二经脉循行流注规律	(11)
(四) 经络与脏腑的关系	(11)
(五) 经络的病理变化	(12)
(六) 经络的治疗	(13)
四、拔罐疗法常用的穴位	(15)
五、拔罐疗法罐具的种类	(25)
(一) 竹罐	(25)
(二) 玻璃罐	(25)
(三) 陶罐	(25)
(四) 抽气罐	(26)
(五) 橡胶罐	(27)
(六) 其他	(27)
六、拔罐疗法的分类	(28)
(一) 按排气方法分类	(28)
(二) 按拔罐形式分类	(28)



(三)按综合治疗分类	(29)
七、拔罐常用的材料	(30)
(一)燃料	(30)
(二)消毒用品	(30)
(三)针具	(31)
(四)润滑剂	(31)
八、拔罐前的准备	(32)
(一)常用拔罐的体位	(32)
(二)清洁拔罐部位的方法	(33)
(三)罐具的准备	(34)
九、拔罐的注意事项	(35)
(一)严格掌握禁忌证	(35)
(二)操作应稳、准、快	(35)
(三)选择正确的拔罐部位	(35)
(四)及时处理病人的异常情况	(36)
(五)根据病情调整拔罐方式	(36)
十、拔罐的操作方法	(37)
(一)火罐法	(37)
(二)走罐法	(40)
(三)水罐法	(42)
(四)药罐法	(44)
(五)抽气罐法	(46)
(六)针罐法	(47)
(七)起罐方法	(50)
(八)拔罐后皮肤变化的临床意义	(51)
十一、内科疾病拔罐疗法	(54)
(一)感冒	(54)
(二)支气管炎	(57)



(三) 支气管哮喘	(59)
(四) 肺炎	(63)
(五) 急性胃炎	(65)
(六) 慢性胃炎	(67)
(七) 急性肠炎	(69)
(八) 消化性溃疡	(71)
(九) 胃下垂	(73)
(十) 溃疡性结肠炎	(75)
(十一) 细菌性痢疾	(78)
(十二) 神经性呕吐	(80)
(十三) 膈肌痉挛	(81)
(十四) 胆囊炎、胆石症	(84)
(十五) 慢性肝炎	(86)
(十六) 便秘	(88)
(十七) 肥胖症	(89)
(十八) 糖尿病	(91)
(十九) 心绞痛	(93)
(二十) 高血压	(94)
(二十一) 阵发性室上性心动过速	(97)
(二十二) 脑血栓形成	(99)
(二十三) 急性肾炎	(102)
(二十四) 慢性肾炎	(103)
(二十五) 泌尿系感染	(104)
(二十六) 偏头痛	(107)
(二十七) 癫痫	(109)
(二十八) 躁狂抑郁症	(111)
(二十九) 神经衰弱	(113)
(三十) 男性性功能障碍	(115)



(三十一)前列腺炎.....	(118)
(三十二)面神经麻痹.....	(120)
(三十三)三叉神经痛.....	(123)
(三十四)肋间神经痛.....	(125)
十二、外科疾病拔罐疗法	(128)
(一)落枕.....	(128)
(二)颈椎病.....	(129)
(三)肩周炎.....	(132)
(四)腱鞘囊肿.....	(134)
(五)网球肘.....	(135)
(六)肋软骨炎.....	(137)
(七)腰部软组织劳损.....	(138)
(八)急性腰扭伤.....	(140)
(九)腰椎间盘突出症.....	(142)
(十)坐骨神经痛.....	(143)
(十一)膝关节痛.....	(145)
(十二)类风湿关节炎.....	(147)
(十三)足跟痛症.....	(150)
(十四)肾绞痛.....	(151)
(十五)脱肛.....	(153)
(十六)痔疮.....	(155)
(十七)疝病.....	(157)
(十八)丹毒.....	(158)
十三、妇科疾病拔罐疗法	(161)
(一)痛经.....	(161)
(二)闭经.....	(164)
(三)功能失调性子宫出血.....	(166)
(四)慢性盆腔炎.....	(168)



(五)带下病.....	(170)
(六)子宫脱垂.....	(173)
(七)妊娠呕吐.....	(175)
(八)产后缺乳.....	(177)
(九)产后恶露不绝.....	(178)
(十)更年期综合征.....	(179)
(十一)急性乳腺炎.....	(181)
十四、儿科疾病拔罐疗法	(184)
(一)小儿高热.....	(184)
(二)小儿肺炎.....	(185)
(三)百日咳.....	(187)
(四)流行性腮腺炎.....	(189)
(五)小儿疳积.....	(190)
(六)小儿消化不良.....	(191)
(七)小儿腹泻.....	(193)
(八)小儿遗尿症.....	(195)
十五、五官科疾病拔罐疗法	(198)
(一)急性结膜炎.....	(198)
(二)麦粒肿.....	(200)
(三)青光眼.....	(202)
(四)白内障.....	(203)
(五)视神经萎缩.....	(205)
(六)慢性鼻炎.....	(207)
(七)鼻出血.....	(208)
(八)慢性咽炎.....	(210)
(九)急性扁桃体炎.....	(211)
(十)内耳眩晕病.....	(213)
(十一)颞下颌关节功能紊乱综合征.....	(215)



(十二)牙痛.....	(217)
(十三)复发性口腔溃疡.....	(218)
十六、皮肤科疾病拔罐疗法	(221)
(一)痤疮.....	(221)
(二)荨麻疹.....	(223)
(三)带状疱疹.....	(225)
(四)神经性皮炎.....	(227)
(五)银屑病.....	(229)
(六)湿疹.....	(230)
(七)黄褐斑.....	(232)
(八)白癜风.....	(235)
(九)皮肤瘙痒症.....	(237)
(十)玫瑰糠疹.....	(238)
(十一)酒渣鼻.....	(239)
(十二)腋臭.....	(240)

一、拔罐疗法简史



一、拔罐疗法简史

拔罐疗法是以罐为工具,利用火焰燃烧、蒸气、抽气等造成罐内负压,使罐吸附于施治部(穴)位,通过吸拔和温热刺激,使局部发生充血或淤血现象,从而达到治疗目的的一种常用的外治法。

拔罐疗法在我国民间广为流传,深受广大患者的欢迎,并且可治疗多种疾病。拔罐疗法古称“角法”,是因为古人以兽角做罐治病,故而得名。在晋代医家葛洪所著《肘后备急方》中,就有以牛角制成罐来拔脓,治疗外科疮疡脓肿的记载。唐代王焘在《外台秘要》一书中,进一步阐述了角法的应用:“患殭殍等病必瘦,脊骨自出,以壮丈夫屈手头指及中指,夹患人脊骨,从大椎向下尽骨极,指复向上,来去十二三回,然以中指于两畔处极弹之,若是此病,应弹处起作头,多可三十余头,即以墨点上记之,取三指大青竹筒,长寸半,一头留节,无节头削令薄似剑,煮此筒子数沸,及热出筒,笼墨点处,按之良久,以刀弹破所角处,又煮筒子重角之,当出黄白赤水,次有脓出……数数如此角之,令恶物出尽,乃即除,当目明身轻也。”在以后的《古今录验方》中,也有以角法治疗蝎螫的记载。此外,还有《瑞竹堂经验方》的“竹筒吸毒法”,《外科正宗》的“煮竹筒法”。清代名医赵学敏在《本草纲目拾遗》一书中,对火罐的出处、形态、适应病症、操作方法及其优点等,均作了详细介绍,如:“火罐,江右及闽中者皆有之,系窑户烧售,小如人指,两头微狭,使促口以受火气。凡患一切风寒,皆用此罐,以小纸烧见焰,投入罐中,即将罐合于患处,或头痛则合在太阳、脑户、巅顶;腹痛,合在脐上。罐得火气,合人肉即牢不可脱,须待其自落,患者但觉有股暖气,从毛孔透入,少顷火力尽,则自落,肉上起红晕,罐中有气水出,风寒



常见病拔罐疗法

尽出,不必服药。治风寒头痛及眩晕、风痹、腹痛等症。”

随着医疗实践的不断发展,拔罐疗法的种类、方法也在不断创新,并从民间转入正规医院。其罐具也从兽角、竹筒发展为金属罐、陶瓷罐、玻璃罐,乃至近年来研制成的抽气罐、挤压罐、电磁罐等。操作方法亦从单纯的留罐法发展为走罐、闪罐法,以及针罐、药罐、火罐、刺络罐、抽气罐、水罐等拔罐方法。治疗范围从单纯吸拔脓血发展成能治疗风寒痹痛、虚劳、喘息等外感内伤的近百种疾病。

拔罐疗法之所以深受广大患者欢迎,是因其操作简便、经济实用,实施过程中病人无痛苦,而且疗效显著。



二、拔罐疗法的治疗原理



二、拔罐疗法的治疗原理

拔罐疗法是运用各种方法使罐内空气减少,当罐口紧贴住皮肤时,由于罐内空气减少而产生负压,使罐子吸附力增强,皮肤因被吸拔而隆起,使毛细血管扩张,局部皮肤充血,通过这种温热和负压吸力的刺激作用,引起局部和全身的应激反应,从而调节机体的生理功能,消除病理因素,以达到治疗疾病的目的。

拔罐疗法有疏通经络,祛湿逐寒,行气活血,消肿止痛等作用。由于历史条件的限制,过去对拔罐的作用原理阐述得很不具体,现综合有关文献叙述如下:

(一)中医对拔罐疗法的认识

拔罐疗法是一种对机体产生温热性、机械性、较温和的刺激的治疗方法。虽然只是在局部或经络穴位上给予刺激,然而会引起局部和全身的反应,以此来调整机体的功能,因而具有调节阴阳,疏通经络,开达抑遏,宣通气血,活血散瘀,消肿止痛,除湿逐寒,扶正祛邪,强壮身体的作用。

1. 平衡阴阳,扶正祛邪 中医运用阴阳失调来阐述疾病的发生机制,就是人在正常情况下,各种组织、脏器的功能活动都保持着有机的协调,即阴阳处于相对平衡状态。这种协调关系如果因某种因素而遭到破坏时,阴阳就会失去相对的平衡而发生疾病,出现“阴盛则阳病,阳盛则阴病”,以及“阳盛则热,阴盛则寒”,“阳虚则寒”,“阴虚则热”的各种病理变化。可见阴阳失调是产生疾病的根本原因,所以调整阴阳,恢复阴阳的平衡,就成为治疗的



关键。拔罐疗法通过吸拔经络穴位来调整某些脏器的功能作用，使机体的阴阳之偏盛、偏衰得以纠正，从而扶正祛邪以达到阴阳平衡。

2. 疏通经络，宣通气血 人体的经络，内属脏腑，外络肢节，纵横交错，网络全身，将人体内外、脏腑、肢节联系成一个有机的整体，借以运行气血，濡养脏腑。如果人体经络气血功能失调，正常的生理功能遭到破坏，疾病随之而产生。拔罐疗法根据经络与脏腑在生理、病理上相互影响的机制，通过对经络、腧穴的负压吸引作用在脏腑经络气血凝滞或经脉空虚时，引导营卫之气复来输布，鼓动经脉气血，濡养脏腑组织器官，温煦皮毛，同时使衰弱的脏腑功能得以振奋，鼓舞正气，加强祛除病邪之力，从而使经络气血恢复正常，疾病得以祛除。

3. 开达抑遏，活血散淤 拔罐作用于肌表，通达于肌里，由浅入深，由近及远，催气促血，使之气血流畅，促进气血循环。人体内的脏腑等器官组织，都是通过经络系统来联系的，由于有了经络的联系，才使人体构成一个有机的统一体。而整体功能的维持，是通过五脏为中心来联系相关的脏腑、经络、气血并进行调节的。人体气血的周流也是以经络为联系渠道的。所以，疏通经络，实际上就是疏通气血。血活气通，则淤血化散，壅塞凝滞得以消除。对局部来说，可以消肿止痛，对全身来说，具有促进血液循环的作用。拔罐疗法不但能使局部毛细血管与经络通畅，也能使远端受到一定影响。

4. 消肿止痛，除湿逐寒 拔罐疗法有祛风散寒，祛湿除邪，温通经络，疏通血脉的作用。“通则不痛”，所以又有消肿止痛作用。疼痛消失，进而导致关节通利。清代赵学敏《本草纲目拾遗》称为火气罐，用以治疗风寒头痛及眩晕、风痹、腰痛等症而不必服药。利用罐内的吸引力，将充斥于体表的病灶，经络、穴位乃至深层组织器官内的风寒、痰湿、淤血、热毒、脓血等，经皮毛吸引出

二、拔罐疗法的治疗原理



来。可见拔罐疗法有驱散风寒,消肿止痛,通利关节的作用。

5. 消散淤阻,拔毒排脓 由于罐内形成负压,吸力很强,可使毒气郁结,恶血淤滞之症,在未化脓时,施以拔罐疗法,尤其是针刺之后拔罐,可使毒血吸出,气血疏通,淤阻消散。已经化脓时,可拔毒排脓,症状迅速减轻。

6. 健脾和胃,宽胸宣肺 拔罐疗法通过其温经通络,祛湿逐寒,行气活血和消肿止痛作用,能调和脾胃,温中散寒,以治疗因脾胃虚寒、脾胃不和引起的胃痛、腹痛、泄泻及呕吐。还能宣发肺气,调节气机升降,以宽胸宣肺,止咳平喘,清肺排痰。

总之,拔罐疗法可调节机体功能使之正常运转;当脏腑功能低下时,可增强其功能;当脏腑功能亢进时,可抑制其功能。

(二)现代医学对拔罐疗法的认识

拔罐疗法是由于罐内形成负压,吸住皮肤而得到治疗效果的,对人体作用是多方面的,现分述于下。

1. 机械刺激作用 拔罐时,由于罐内形成负压,吸力强,这种负压吸拔力,可使局部毛细血管充血,甚至破裂,红细胞破坏,出现自家溶血现象。拔罐内负压吸拔力愈大,这种自溶现象愈严重,吸拔力愈小,这种现象愈轻。负压吸拔力是属于一种负压机械刺激作用,负压吸拔力的大小,就意味着刺激量或刺激强度的大小。这种刺激,可以通过皮肤感受器、血管感受器,感受其刺激,经过传入神经纤维传至大脑皮质,反射性的调节兴奋和抑制过程,使整个神经系统趋于平衡。临床实践证明,轻而缓的拔罐手法,可使神经受到抑制;强而急的拔罐手法,可使神经兴奋。将火罐吸拔在胃俞穴、脾俞穴时,则胃的蠕动增强;当火罐吸拔在足三里穴时,则胃的蠕动减缓。由此可见吸拔力的大小,直接影响拔罐的治疗效果。通过调整吸拔力大小的机械刺激作用,可调节机体脏腑功



能趋于平衡。

2. 温热刺激作用 拔罐疗法对局部皮肤有温热刺激作用,在拔罐过程中因采用火罐法、煮罐法(竹罐)、药罐法及温水罐法,其温热刺激能使局部的血管扩张,促进局部的血液循环,加速新陈代谢,改善局部组织的营养状态。因而增强了组织的活力,血管壁的通透性,白细胞及网状细胞的吞噬力,和局部的耐受性及机体的抵抗力,达到促使疾病好转的目的。

3. 负压刺激作用 拔罐疗法由于有很强的负压吸附力量,所以能使拔罐部位毛细血管破裂,局部淤血,引起自家溶血现象,释放组胺和5-羟色胺等。神经递质通过神经-体液机制,刺激传入神经传至大脑皮质,再由大脑皮质产生反射作用,使机体增加抗病能力。

4. 提高吞噬细胞的功能 临床研究表明,拔罐疗法的吸拔刺激能激发吞噬细胞作用。拔罐前后比较,拔罐后白细胞总数略有增加,其吞噬细菌指数(反应白细胞对细菌的吞噬能力)及血清补体效价都有明显的提高。而且白细胞数量并无明显增多,而吞噬细胞的功能却明显地提高了。这充分说明了拔罐疗法,可增强白细胞和网状内皮系统的吞噬功能,增强机体的抗病能力。

5. 对神经的调节作用 拔罐疗法对神经系统的良性刺激,可经神经系统的末梢感受器传导至大脑皮质;对皮肤的良性刺激可通过皮肤感受器和血管感受器传导至中枢神经系统,从而发生反射性兴奋,调节大脑皮质的兴奋与抑制过程,使之趋于平衡,因而加强了大脑皮质对身体各部位的调节和管制功能,促进病灶部位组织代谢增强,使疾病痊愈。

6. 促进血液循环 拔罐疗法调节人体微循环,促进人体血液与组织间的物质交换;调节毛细血管的舒缩功能,促进局部血液循环;调节新陈代谢,改善局部组织营养;调节淋巴循环功能,使